

共同住宅等 設計内容説明書

建築物の名称				
建物概要	延べ床面積	構造方式	階数	
	m ²			
設計者氏名				

評価者氏名	
この欄は申請者記載不要	

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認		
			項目	設計内容	記載図書			
劣化の軽減に関する事	3-1ハ RC造等劣化対策等級 (構造躯体等)	3 2 1	セメント	セメントの種類	ポルトランドセメント(JIS R 5210) (普通 中庸熱 低熱 その他) フライアッシュセメント(JIS R 5213) 高炉セメント(JIS R 5211)	仕様書		
			コンクリートの水セメント比	最小かぶり厚さ	・土に接しない部分 耐力壁以外の壁、床 屋内()mm屋外()mm 耐力壁、柱、はり 屋内()mm屋外()mm ・土に接する部分 壁、柱、はり、床、基礎の立上り部分 ()mm ・基礎(立上り部分を除く) ()mm ・外壁仕上げ[タイル貼 モルタル塗 外断熱工法 その他()]	仕様書		
			水セメント比	コンクリートの種類	普通コンクリート 軽量コンクリート)	仕様書		
			部材の設計・配筋	設計かぶり厚さ	設計かぶり厚さ=最小かぶり厚さ+()mm	仕様書		
			コンクリートの品質	スラブ	18cm以下(品質基準強度33N/mm ² 未満) 21cm以下(品質基準強度33N/mm ² 以上)	仕様書		
				単位水量	()kg/m ³			
				空気量	()%			
			施工計画	コンクリートの充填方法等	打込・締め固め方法 (JASS5-7節に準拠 その他:) 打継ぎ部の処理方法 (JASS5-7節に準拠 その他:) 養生方法 (JASS5-8節に準拠 その他:)	仕様書		
			3-1ロ 鉄骨造劣化対策等級 (構造躯体等)	3 2 1	構造躯体	鋼材の厚さ	・一般部()mm ・柱脚部()mm	仕様書
						防錆処理の種類	・一般部() ・柱脚部()	
床下	防湿措置	コンクリート(厚さ)mm 防湿フィルム(厚さ)mm その他同等の防湿性能があると確かめられた材料			仕様書			
	換気措置	基礎断熱工法 地域区分()			仕様書			
		断熱材種類() (熱抵抗値 m・K/W) (厚さ)mm						
小屋裏換気	換気口の位置 (給気口:) (排気口:) ・天井面積に対する換気口面積の割合 (/)	平面図 矩計図						
該当なし	(/)							

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
4-2 維持管理 対策等級 (共用配管) 維持管理・更新への配慮に関する事 *1 MB:メーターボックス PS:パイプシャフト	3 2 1	共用配管	コンクリート内埋め込み配管	・排水管(有 無) ・給水管(有 無) ・給湯管(有 無) ・ガス管(有 無)	仕様書 設備図	
			地中埋設管 管上のコンクリート打設	・排水管(有 無) ・給水管(有 無) ・給湯管(有 無) ・ガス管(有 無) 条例等の規制により凍結防止の為配管埋設が定められている地域	仕様書 設備図	
		共用排水管*1 排水管の清掃措置、掃除口の点検措置	・共用立管 ・掃除口の位置(点検口付) 最上階 最下階 中間階(3,2,1階おき又は15m以内毎) ・掃除口の点検措置 PS点検口 露出配管 その他 ・横主管 ・各横主管の始端部の掃除口 横主管本体 掃除口付脚部継手 その他 ・各横主管の一般部の掃除口 始端部掃除口から10m以内毎 その他 ・掃除口の点検措置 ビット内配管 天井点検口 その他	配置図 平面図 矩計図 設備図		
		配管点検口*1 共用管と専用管の接合部	・接合部の点検措置 PS点検口 露出配管 その他 ・共用配管のバルブの点検措置 MB扉 PS点検口 露出配管 その他	平面図 設備図		
		排水管の性状等 設置状態 (継ぎ手及びハググーを含む)	平滑である(仕様:) その他() たわみ抜けが生じないように設置措置() その他()	仕様書		
		横主管のビット内等の措置	排水管 建物直下になし 給水管 ビット内又は床下空間 人通孔設置 その他) 給湯管 人通孔寸法 600 550 その他() ガス管	平面図 矩計図 設備図 構造図		
		配管補修の措置*1	排水管 露出(共用部 住棟外周部 パルコニー) 給水管 PS・MB内(共用部に面して配管補修可能な開口・扉有り) 給湯管 ビット・天井内(共用部に面して配管補修可能な開口有り) ガス管	平面図 矩計図 設備図 構造図		
4-3 更新 対策 (共用排水管)	3 2 1	共用排水管	コンクリート内埋込配管	・排水管(有 無) 条例等の規制により凍結防止の為配管埋設が定められている地域	仕様書 設備図	
			地中埋設管 管上のコンクリート打設	・排水管(有 無) 構造躯体に影響を及ぼさない、外部に存する土間コンクリート 条例等の規制により凍結防止の為配管埋設が定められている地域		
		横主管の設置位置	ビット内 1F床下空間 ビロティ等 人通孔設置あり 専用部分に立ち入らずに配管到達可能 共用部仕上げ材等の軽微な除去を伴う	平面図 矩計図 設備図		
		共用排水管の設置位置	・設置位置 共用部 住棟外周部 パルコニー その他 ・設置状態 PS内 露出 専用部に立ち入らずに更新可能な開口部あり 共用部仕上げ材等の軽微な除去を伴う	配置図 平面図 矩計図 設備図		
		更新措置	撤去・切断工事 ・共用排水管の切断工事軽減措置 () ・コンクリート床貫通部のはつり工事軽減措置 () 排水管接続替え工事を容易に行うための措置 専用排水管に、接続替え用ソケット等の継手設置可能 他の配管等を移設せずに接続替え可能な構造 共用排水管の撤去・接続替えその他更新のための空間確保 更新の為の空間確保あり 更新工事の障害となる機器・配管なし	配置図 平面図 矩計図 設備図		
接続替え	共用排水管近傍の空間・スリーブ等 新規共用排水管設置の為の空間確保可能 ・当該空間の寸法等() 更新配管用予備スリーブ有り ・位置・寸法等()	配置図 平面図 矩計図 設備図				
		共用排水立管の位置	共用排水立管の位置	共用廊下に面する共用部分 外壁面・吹き抜け等の住戸外周部 パルコニー 住戸専用部 その他	平面図 設備図	

その2.住戸評価用

印の欄は設計者が記入のこと

建築物の名称	住戸タイプ	住戸番号
建築物の所在地		
設計者等の氏名		
評価者氏名		

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
火災時の安全に関する事	2-1 感知警報装置 設置等級 (自住戸 火災時) 1	感知警報装置	感知部分の設置場所等	・種類 自動火災報知設備 住宅用火災警報機 自動火災報知設備同等品 住宅用火災警報機同等品 その他 ・設置場所(種別) 全ての居室(熱式 煙式) 全ての寝室(熱式 煙式) 階段 (煙式) 寝室のある階から直下階に通じる階段(煙式) 全ての台所等(熱式 煙式) その他(熱式 煙式) ・感知器の性能 日本消防検定協会合格品 その他	仕様書 平面図 設備図	
			警報部分の性能	・設置場所 LDK メゾネット部分 その他 ・警報器の性能 日本消防検定協会合格品 その他		
2-2 感知警報装置 設置等級 (他住戸等 火災時) 該当なし*1	4 3 2 1	感知警報装置	感知警報装置の種類等	・感知器 ・種類 共同住宅用自動火災報知設備 共同住宅用自動火災報知設備同等品 住戸用自動火災報知設備 住戸用自動火災報知設備同等品 その他 ・設置場所 警報器 同一階および直下の階 ・種類 共同住宅用非常警報設備 共同住宅用非常警報設備同等品 その他 ・設置場所 同一階および直下の階 火災発生住戸等の感知器から評価対象住戸等の警報器への連絡方法 ・同一階および直下の階の火災は、感知器から自動転送にて評価対象住戸のある階及び直下の階の共用部の警報ベルなどを鳴動 自動転送にて評価対象住戸内の警報器などを鳴動 ・同一階および直下の階の火災は、感知器から戸外表示器へ表示され、かつ手動転送にて評価対象住戸のある階及び直下の階の共用部の警報ベルなどを鳴動 手動転送にて評価対象住戸内の警報器などを鳴動	仕様書 平面図 設備図	
2-3 避難安全対策 (他住戸等火災 時・共用廊下) 該当なし*2		排煙形式		開放型廊下 自然排煙 機械排煙(一般) 機械排煙(加圧式) その他	平面図 断面図 矩計図 設備図	
		平面形状		通常の歩行経路による2以上の方向への避難可 直通階段との間に他住戸等なし その他(注:この場合のみ耐火等級についても評価)	平面図	
2-4 脱出対策 (火災時) 該当なし*3	3 2 1	耐火等級 (避難経路の 隔壁の 開口部)	防火設備の仕様等	・防火設備の種類 令第112条第1項に規定する特定防火設備 建築基準法第2条第9号の2口の防火設備 ・認定番号() ・耐火時間(60分 20分)	仕様書 平面図 建具表	
			脱出対策	バルコニー及び避難器具 直通階段に直接通ずるバルコニー 隣戸に通ずるバルコニー 避難器具(滑り棒 滑り台 緩降機 避難用タラップ 避難ロープ 避難はしご 避難橋 救助袋) その他()	仕様書 平面図	
2-7 耐火等級 (界壁及び界床) 該当なし	4 3 2 1	界壁	界壁の構造等	・構造・材料 鉄筋コンクリート造 厚さ7cm以上 ・その他() ・認定番号() ・耐火時間(60分 45分 20分)	仕様書 平面図 構造図	
			下階界床の構造等	・構造・材料 鉄筋コンクリート造 厚さ7cm以上 ・その他() ・認定番号() ・耐火時間(60分 45分 20分)	仕様書 断面図 構造図	

*1 避難階に存する住戸及び他住戸等を同一階等に有しない住戸は該当なしにチェックする
 *2 避難階に存する住戸及び他住戸等を同一階等に有しない住戸は該当なしにチェックする
 *3 避難階に存する住戸は該当なしにチェックする

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
4 - 1 維持管理対策等級 (専用配管) 1 MB:メーターボックス PS:パイプシャフト	3 2 1	専用配管	コンクリート内埋込配管 他住戸の専用部内	・排水管(有 無) ・給水管(有 無) ・給湯管(有 無) ・ガス管(有 無)	仕様書 設備図	
			地中埋設管 地中埋設管上のコンクリート打設	・排水管(有 無) ・給水管(有 無) ・給湯管(有 無) ・ガス管(有 無)		
		排水管の性状等 (継ぎ手及びヘッダーを含む)	配水管等の内面 設置状態	平滑である(仕様: 其他() たわみ抜けが生じないように設置 措置() 其他()	仕様書	
		専用排水管*1	排水管の清掃措置	・便所 洋風便器(取外し可) 共用立管に隣接 掃除口有 露出 PS内(点検口付) その他 ・その他の水まわり器具 トラップから清掃可 掃除口有 [露出 キャビネット内 二重床内(点検口付)] 其他		
		配管点検口	主要接合部等の点検措置	・排水管と設備機器の接合部 キャビネット扉 二重床点検口(防水ハン下部等) 露出 その他 ・給水管と設備機器の接合部 キャビネット扉 二重床点検口(防水ハン下部等) 壁面露出 その他 ・給水管のバルブ、ヘッダー キャビネット扉 二重床点検口 天井点検口 MB扉 PS点検口 露出 その他 ・給湯管と設備機器の接合部 キャビネット扉 二重床点検口(防水ハン下部等) 壁面露出 その他 ・給湯管のバルブ及びヘッダー キャビネット扉 二重床点検口 天井点検口 MB扉 PS点検口 露出 その他 ・ガス管のバルブ キャビネット扉 二重床点検口 天井点検口 MB扉 PS点検口 露出 その他	平面図 設備図	
構造躯体等	躯体天井高 () 階 ・躯体天井高 (mm以上) 異なる躯体天井高が存在する場合 最も低い部位 はり 傾斜屋根 その他() 最も低い部位の高さ (mm以上)	平面図 構造図 矩計図				
住戸専用部の構造躯体の壁又は柱	() 階 ・躯体天井高 (mm以上) 異なる躯体天井高が存在する場合 最も低い部位 はり 傾斜屋根 その他() 最も低い部位の高さ (mm以上)		平面図 構造図			
4 - 4 更新対策 (住戸専用部)		住戸専用部の構造躯体の壁又は柱		・構造躯体の壁又は柱で、間取りの変更の障害となりうるもの 無し 壁(寸法: :位置) 柱(寸法: :位置)	平面図 構造図	

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
温熱環境に関する事 5-1口 熱貫流率等による基準 地域 *1	4 3 2 1	断熱構造とする部分	各部の熱貫流率又は各部の断熱材の種類と厚さ t:厚さ 単位(mm)	屋根又は天井: 外断熱 内断熱 硬質ウレタンフォーム保温板()種()号 t=() 吹付け硬質ウレタンフォーム(現場発泡) t=() 押出法ポリスチレンフォーム保温板()種 t=() その他() t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 壁: 外断熱 内断熱 硬質ウレタンフォーム保温板()種()号 t=() 吹付け硬質ウレタンフォーム(現場発泡) t=() 押出法ポリスチレンフォーム保温板()種 t=() その他() t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 床(外気に接する部分): 外断熱 内断熱 硬質ウレタンフォーム保温板()種()号 t=() 吹付け硬質ウレタンフォーム(現場発泡) t=() 押出法ポリスチレンフォーム保温板()種 t=() その他() t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 床(その他の部分): 外断熱 内断熱 硬質ウレタンフォーム保温板()種()号 t=() 吹付け硬質ウレタンフォーム(現場発泡) t=() 押出法ポリスチレンフォーム保温板()種 t=() その他() t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$)	仕様書 平面図 断熱材 仕様書 矩計図	
			断熱性能を確保するための事項	・小屋裏、天井裏内又は床下内に上下端部が開放された間仕切壁内及び外壁内への通気止めの設置 充填断熱工法などでないため開放部分なし、またその他の理由による開放部分もなし 通気止め設置 その他 ・天井又は屋根又は壁の埋込型照明器具又はコンセント等で断熱材を欠損する場合の措置 該当なし 欠損部分を補修 その他 ・屋上の逆梁、アンテナ基礎又は機械基礎等で屋上外断熱材を欠損する場合の措置 該当なし 欠損部分直下住戸内天井部分を内断熱 その他 ・繊維系断熱材等の防湿層の設置 該当なし 設置	仕様書 矩計図 平面図	
			気密層の施工	・躯体の施工方法等 コンクリートを密実に打設 気密層を確保する方法を特記仕様書に明記 その他		
			躯体の断熱性能等	天井(仕様:) t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 壁(仕様:) t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 床(仕様:) t=() 熱抵抗値($m^2 \cdot K/W$) 熱貫流率($W/m^2 \cdot K$) 補強範囲 [450mm 600mm その他(mm)]	仕様書 矩計図 平面図	
			開口部の断熱性能等 熱貫流率及び日射侵入率の基準による	建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成等および建具気密性 建具形状 建具・ドア枠の材質・形状・ガラスの種類・構成等 気密性等級	仕様書 平面図 建具表 矩計図 日射侵入率計算書	
			建具等の基準による	建具の日射侵入対策 建具・ドア枠の材質・形状、ガラスの種類・構成等、庇・軒・付属部材等の設置 方位 建具・ドア枠の材質・形状・ガラスの種類・構成等 庇・軒・付属部材等		
				庇・軒・付属部材等の記号は、 A:なし B:庇・軒 C:カーテンレールダブル D:内付ブラインド E:外付ブラインド F:紙障子 G:その他 を示す。 注)4%緩和規定利用時は特記のこと。		

*1 5-11「熱損失係数等による基準」にて評価を行う場合は、この面を別途自己作成下さい。

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
空気環境に関する事 6-1 ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等) 該当なし (内装) 該当なし (天井裏等)	内装 3 2 1	居室の内装の仕上材	使用する建材	製材等[製材 丸太 単層フローリング] 特定建材 其他	仕様書 仕上表 建具表 整理表	
			ホルムアルデヒド発散等級(特定建材)	JIS表示区分等(F F F) 種類: 使用部位: 種類: 使用部位: 種類: 使用部位: 種類: 使用部位: 種類: 使用部位: 種類: 使用部位:		
	天井裏等 3 2	天井裏等の下地材等	措置方法	使用建材による 換気又は気密措置による	仕様書	
			使用する建材	製材等[製材 丸太 単層フローリング] 特定建材 其他		
			ホルムアルデヒド発散等級(特定建材)	JIS表示区分等(F F 其他) 種類: 使用部位: 種類: 使用部位: 種類: 使用部位:	仕上表 建具表 整理表 仕様書	
6-2 換気対策 換気対策			居室の換気対策	種類	機械換気設備 其他()	計算書 仕様書 平面図 建具表
				機械換気	・一体とみなす居室の範囲 () ・換気方式 給気機+排気機(第1種) 給気機+排気口(第2種) 給気口+排気機(第3種) 気積(m ³) 換気量(m ³) 換気回数(m ³) ・ドアのアンダーカット又はガラリ(有 無)	
				機械換気	・一体とみなす居室の範囲 () ・換気方式 給気機+排気機(第1種) 給気機+排気口(第2種) 給気口+排気機(第3種) 気積(m ³) 換気量(m ³) 換気回数(m ³) ・ドアのアンダーカット又はガラリ(有 無)	
			機械換気	・一体とみなす居室の範囲 () ・換気方式 給気機+排気機(第1種) 給気機+排気口(第2種) 給気口+排気機(第3種) 気積(m ³) 換気量(m ³) 換気回数(m ³) ・ドアのアンダーカット又はガラリ(有 無)	計算書 仕様書 平面図 建具表	
			局所換気対策	便所	・機械換気 (有 無) ・換気窓 (有 無)	仕様書 平面図 設備図
			浴室	・機械換気 (有 無) ・換気窓 (有 無)		
			台所	・機械換気 (有 無) ・換気窓 (有 無)		
光・視環境に関する事 7-1 単純開口率			開口部(単純開口率)	居室の面積に対する開口部の割合	・居室の床面積の合計 (m ²) ・居室の開口部の面積の合計 (m ²) ・単純開口率 (%以上)	計算書 平面図 建具表
				開口部(方位別開口比)	方位別開口部面積の合計 方位別開口比 北 (m ²) (%) 東 (m ²) (%) 南 (m ²) (%) 西 (m ²) (%) 真上 (m ²) (%) * 方位別開口比の値が0から99の場合には「%」を「%以上」と読み替える また、開口部の存在しない方位を「-」と表記し、「0%」と読み替える。	

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
			項目	設計内容	記載図書	
高年齢者等への配慮に関すること	9-1 高齢者等配慮対策等級(専用部分)	5 4 3 2 1	部屋の配置等	特定寝室	・特定寝室と同一階にある部屋 玄関 便所 浴室 洗面所 食事室 脱衣室 ・ホームエレベーターの有無[有 無] ・ホームエレベーター出入口の幅員() mm	平詳図
			段差	出入口等(日常生活)	・玄関出入口 くつずりと玄関外側 () mm くつずりと玄関土間 () mm ・上がりかまち () mm ・踏み段 奥行() mm, 幅() mm, 蹴上() mm ・浴室出入口 単純 またぎ() mm ・バルコニー出入口 単純 またぎ() mm ・踏み段 奥行() mm, 幅() mm, 蹴上() mm	平詳図 矩計図
			式台(日常生活空間内)	・式台の存する居室名() ・面積() m ² , 長辺() mm, 高さ() mm		
			その他(日常生活空間外)	・室名() ・段差() mm		
			住戸内階段	幅員	・幅員 () mm	平詳図 階段詳細図
			勾配等	・けあげ () mm) 踏面 () mm ・勾配 () / ()		
			蹴込み形式等	・蹴込み寸法() mm) 蹴込み板 () (有 無) ・階段の形式() ・最上段の通路等への食い込み (有 無) ・最下段の通路等への突出 (有 無)		
			滑り防止	・滑り止め (有 無, 踏面と同一面)		
			段鼻	・段鼻の出 (有 無)		
			昇降補助手摺	・階段 () (両側設置 片側設置) 手摺高さ() mm		
			手摺	動作補助手摺の設置	・便所 立ち座り 浴室 浴室出入口 浴槽出入口 浴槽立ち座り 姿勢保持 洗い場立ち座り ・バルコニー出入口(設置、等級3.2の場合は設置可) ・玄関 () (設置 設置可) ・脱衣室 () (設置 設置可)	平詳図 矩計図 仕様書
			転落防止	・バルコニー 腰壁の高さ() mm 手摺高さ() (腰壁より 床面より) mm ・窓(2階以上) 窓台の高さ() mm 手摺高さ() (窓台より 床面より) mm ・住戸内の廊下及び階段(開放されている側) 腰壁の高さ() mm) 手摺高さ () mm ・手摺子の内法寸法 110mm以下		
			通路及び出入口の幅員(日常生活空間)	通路の幅員	・最小有効幅員 () mm ・柱等の箇所 () mm	平詳図
			出入口の幅員(日常生活空間)	出入口の幅員(バルコニー勝手口等を除く)	・玄関 (有効) mm ・浴室出入口 (有効) mm ・玄関・浴室出入口以外の室の出入口(最小幅員) mm 工事を伴わない撤去により対応可 軽微な改造により対応可	
			寝室、便所及び浴室(日常生活空間)	浴室の寸法	・内法の短辺寸法 () mm ・内法面積 () m ² ・ユニットバス型番()	平詳図 UB詳
便所の寸法等	便所の寸法等	・内法寸法 長辺() mm) 短辺() mm 短辺が便器後方の壁から便器の先端+500mm以上 便器の前方に500mm以上確保 便器の側方に500mm以上確保 工事を伴わない撤去により対応可 軽微な改造により対応可 ドア開放により対応可 ・便器の形式 () (腰掛け式 其他)				
特定寝室	特定寝室	・特定寝室(室名:) ・内法面積 () m ²				

性能表示事項	自己評価等級	確認項目	設計内容説明欄		設計内容確認
			項目	設計内容	
高年齢者への配慮に関する事 9-2 高年齢者等配慮対策等級(共用部分) 該当なし	5 4 3 2 1	共用廊下(エントランスホールを含む)	幅員	有効幅員(mm)	仕様書 平面図 矩形図
			歩行補助手摺	片面設置 無 ・床面からの高さ(mm) ・腰壁の高さ(mm) ・手摺高さ(腰壁より 床面の先端より) mm ・手摺子の内法寸法 110mm以下	
			開放廊下の転落防止用手摺	・腰壁の高さ(mm) ・手摺高さ(腰壁より 床面の先端より) mm ・手摺子の内法寸法 110mm以下	
			床の段差	・段差なし ・高低差 [有 無 (mm)] ・高低差が生じる場合の構造 勾配() 傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 傾斜路(勾配1/15以下)の設置 傾斜路(勾配1/8以下)の設置	
			傾斜路の構造	・傾斜路の構造 手摺 (両側設置 片側設置 無) 手すりの床面からの高さ (mm)	
			有効幅員	(mm)	
			段の構造	有効幅員(mm) 勾配 (/) けあげ(mm)・踏み面(mm) 段の蹴込み寸法(mm) 蹴込み板 (有 無) 最上段の通路等への食い込み (有 無) 最下段の通路等への突出 (有 無) 滑り止め (有 無 踏面と同一面) 段鼻の出 (有 無) 手摺 (両側設置 片側設置 無) 段鼻からの手摺の高さ(mm)	
		共用階段	幅員	幅員 (mm)	階段詳 平面図
			勾配等	・けあげ (mm)・踏面 (mm) ・勾配 (/ 11) ・蹴上×2+踏面(mm)	
			蹴込み	・蹴込み寸法(mm) ・蹴込み板 (有 無)	
			形式等	・階段の形式 (踊場付き折れ階段 直階段 その他) ・最上段の通路等への食い込み (有 無) ・最下段の通路等への突出 (有 無)	
			昇降補助手摺	・両側設置 片側設置 無 ・段鼻からの高さ (mm)	
			滑り防止	滑り止め(有 無 踏面と同一面)	
			段鼻	段鼻の出 (有 無)	
			転落防止用手摺(外部開放階段)	・腰壁の高さ(mm) ・手摺高さ(段鼻より 腰壁より) mm ・手摺子の内法寸法 110mm以下	
		エレベーター	エレベーター利用	・住戸位置(建物出入口の在る階 左記以外) ・エレベーター設置 (有 無)	平面図 EV詳
			エレベーター仕様	・出入口の有効幅員 (mm) ・かごの奥行き寸法 (mm)	
			エレベーターホールの広さ	エレベーターホールの寸法 1,500mm×1,500mm 以上	
			経路上の床段差	建物出入口からエレベーターホールまでの経路上の段差なし ・高低差 [有 無(mm)]	
			傾斜路及び段の構造	傾斜路(勾配1/12以下)と段の併設 傾斜路(勾配1/15以下)の設置 傾斜路(勾配1/8以下)の設置 ・傾斜路の構造 手摺 (両側設置 片側設置 無) 床面からの高さ(mm) ・有効幅員 (mm)	
			エレベーターホールへの経路上の床の高低差が生じる場合)	・段の構造 有効幅員(mm) 勾配 (/) けあげ(mm)・踏み面(mm) 段の蹴込み寸法(mm) 蹴込み板 (有 無) 最上段の通路等への食い込み (有 無) 最下段の通路等への突出 (有 無) 滑り止め (有 無 踏面と同一面) 段鼻の出 (有 無) 手摺 (両側設置 片側設置 無) 段鼻からの手摺の高さ(mm)	

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認	
		項目	設計内容	記載図書		
防犯に関すること 10-1 開口部の侵入防止対策 建物出入口のある階(階)*	住戸の出入口 (区分a) 対策あり シャッター等 その他	戸及び錠による対策	対象箇所 ()	・戸の性能 CP表示品 その他 ()	仕様書 平詳図 立面図	
			・ガラスの性能 対象外 対象 ()	(CP表示品 その他 ())		
			・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・デッドボルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)	・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)		
		上記と同等の対策	・対策(CP表示品 その他 ())			
		雨戸等による対策	・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())		
			・対策(CP表示品 その他 ())			
	外部からの接近が比較的容易な開口部 (区分b) 対策あり シャッター等 その他	開閉機構あり	戸及び錠による対策	対象箇所 ()	・サッシ (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図
				・ガラス (CP表示品 その他 ())	(CP表示品 その他 ())	
				・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・デッドボルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)	・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	
		上記と同等の対策	・対策(CP表示品 その他 ())			
		雨戸等による対策	・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())		
			・対策(CP表示品 その他 ())			
開閉機構なし	ガラス等による対策	対象箇所 ()	・ガラス (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図		
		・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	(CP表示品 その他 ())			
		・対策(CP表示品 その他 ())				
	雨戸等による対策	・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())			
		・対策(CP表示品 その他 ())				
	その他の開口部 (区分c) 対策あり シャッター等 その他	開閉機構あり	戸及び錠による対策		対象箇所 ()	・サッシ (CP表示品 その他 ())
・ガラスの性能 対象外 対象 ()				(CP表示品 その他 ())		
・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・デッドボルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)				・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)		
上記と同等の対策		・対策(CP表示品 その他 ())				
雨戸等による対策		・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())			
		・対策(CP表示品 その他 ())				
開閉機構なし	ガラス等による対策	対象箇所 ()	・ガラス (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図		
		・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	(CP表示品 その他 ())			
		・対策(CP表示品 その他 ())				
雨戸等による対策	・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())				
	・対策(CP表示品 その他 ())					
評価対象外の開口部	開口部の大きさ、対象箇所	開口部の大きさ	対象箇所		仕様書 平詳図 立面図	

* 1つの階ごとに1つの欄を使用し、メゾネット等で1住戸に2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認	
		項目	設計内容	記載図書		
防犯に関すること 10-1 開口部の侵入防止対策 建物出入口のない階(階)*	住戸の出入口 (区分a) 対策あり シャッター等 その他 該当なし	戸及び錠による対策	対象箇所 ()	・戸の性能 CP表示品 その他 ()	仕様書 平詳図 立面図	
			・ガラスの性能 対象外 対象 ()	(CP表示品 その他 ())		
			・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・テッドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)	ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)		
		上記と同等の対策	・対策(CP表示品 その他 ())			
		雨戸等による対策	・対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())		
			・対策(CP表示品 その他 ())			
	外部からの接近が比較的容易な開口部 (区分b) () 共用廊下または共用階段 対策あり シャッター等 その他 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策	対象箇所 ()	・サッシ (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図
				・ガラス (CP表示品 その他 ())	(CP表示品 その他 ())	
				・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・テッドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)	ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	
		戸及び錠による対策	対象箇所 ()	・戸の性能 CP表示品 その他 ()		
			・ガラスの性能 対象外 対象 ()	(CP表示品 その他 ())		
		上記と同等の対策	・対策(CP表示品 その他 ())			
雨戸等による対策	対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())				
	・対策(CP表示品 その他 ())					
開閉機構なし	ガラス等による対策	対象箇所 ()	・ガラス (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図		
		ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	(CP表示品 その他 ())			
		・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・テッドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)				
	雨戸等による対策	対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())			
		・対策(CP表示品 その他 ())				
	外部からの接近が比較的容易な開口部 (区分b) () バルコニー等 対策あり シャッター等 その他 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策		対象箇所 ()	・サッシ (CP表示品 その他 ())
・ガラス (CP表示品 その他 ())				(CP表示品 その他 ())		
・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・テッドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)				ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)		
戸及び錠による対策		対象箇所 ()	・戸の性能 CP表示品 その他 ()			
		・ガラスの性能 対象外 対象 ()	(CP表示品 その他 ())			
上記と同等の対策		・対策(CP表示品 その他 ())				
雨戸等による対策	対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())				
	・対策(CP表示品 その他 ())					
開閉機構なし	ガラス等による対策	対象箇所 ()	・ガラス (CP表示品 その他 ())	仕様書 平詳図 立面図		
		ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)	(CP表示品 その他 ())			
		・窓数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・テッドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)				
雨戸等による対策	対象箇所 ()	・種類 (雨戸 シャッター その他 ())				
	・対策(CP表示品 その他 ())					

* 1つの階ごとに1つの欄を使用し、メゾネット等で1住戸に2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。

性能表示事項	確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認	
		項目	設計内容	記載図書		
防犯に関すること(つづき)	開口部の侵入防止対策(つづき) その他の開口部(区分c) 対策あり シャッター等 該当なし	開閉機構あり	サッシ及びガラスによる対策	対象箇所 () ・サッシ (CP表示品 その他 ()) ・ガラス (CP表示品 その他 ()) ・ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無) ・クレセント等 (2以上装着)	仕様書 平詳図 立面図	
			戸及び錠による対策	対象箇所 () ・戸の性能 CP表示品 その他 () ・ガラスの性能 対象外 対象 (CP表示品 その他 ()) ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無) ・錠数(2以上装着) 1以上の錠 (CP表示品・レドホルト鎌式 その他) 1以上の錠 (サムターン操作不可)		
			上記と同等の対策	対策(CP表示品 その他 ())		
			雨戸等による対策	対象箇所 () ・種類 (雨戸 シャッター その他 ()) ・対策(CP表示品 その他 ())		
			開閉機構なし	ガラス等による対策		対象箇所 () ・ガラス (CP表示品 その他 ()) ウインドウフィルム 不要 必要 (有 無)
				雨戸等による対策		対象箇所 () ・種類 (雨戸 シャッター その他 ()) ・対策(CP表示品 その他 ())
		評価対象外の開口部	開口部の大きさ、対象箇所	開口部の大きさ 対象箇所	() () () () () () () ()	仕様書 平詳図 立面図

* 1つの階ごとに1つの欄を使用し、メゾネット等で住戸に2以上の階がある場合には、階の数だけ各欄を連結して使用する。

性能表示事項	自己評価等級		確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
	最高(等級)	最低(等級)		項目	設計内容	記載図書	
音環境に関する事 上階該当なし	8-1イ 重量床衝撃音対策等級	5	5	上階 界床	(最高) 床構造等	・受音室名・面積() (m ²) ・スラブの種類・厚さ 均質単板スラブ(mm) ポイドスラブ (mm) (等価厚さ mm)	計算書 仕様書 平面図 構造図
		4	4		床仕上げ 構造等	・端部拘束条件(辺) ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS- A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()	
		3	3				
		2	2				
		1	1				
					(最低) 床構造等	・受音室名・面積() (m ²) ・スラブの種類・厚さ 均質単板スラブ(mm) ポイドスラブ (mm) (等価厚さ mm)	
					床仕上げ 構造等	・端部拘束条件(辺) ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS- A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()	
						・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他	

性能表示 事項	自己評価 等級		確認 項目	設計内容説明欄			設計 内容 確認
	最高 (等級)	最低 (等級)		項目	設計内容	記載図書	
音環境 に関する こと	8-1イ 重量床衝 撃音対策 等級	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	下階 界床	(最高) 床構造等	・受音室名・面積() (m ²) ・スラブの種類・厚さ 均質単板スラブ(mm) ボイドスラブ (mm) (等価厚さ mm) ・端部拘束条件(辺) ----- ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他() ----- ・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他	計算書 仕様書 平面図 構造図
	下階 該当なし				(最低) 床構造等	・受音室名・面積() (m ²) ・スラブの種類・厚さ 均質単板スラブ(mm) ボイドスラブ (mm) (等価厚さ mm) ・端部拘束条件(辺) ----- ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他() ----- ・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他	

性能表示 事項	自己評価 等級		確認 項目	設計内容説明欄			設計 内容 確認
	最高 (cm)	最低 (cm)		項目	設計内容	記載図書	
音 環 境 に 関 す る こ と 上階該当 なし	8-1口 相当 スラブ厚 (重量 衝撃音)	27 20 15 11 他	27 20 15 11 他	上階 界床	(最高) 床仕上げ 構造等	・受音室名() ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()	計算書 仕様書 平面図 構造図
	相当 スラブ厚	相当 スラブ厚	相当 スラブ厚	相当 スラブ厚	・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他 ・m : 床躯体の面密度(kg / m ²) ・Ei: ヤング係数 (× 10 ¹⁰ N / m ²) ・li: 幅1m当りの断面2次モーメント (× 10 ⁻³ m ⁴ / m) ・h ₁ : 等価厚さ(m) ・ L: 重量床衝撃音レベル低減量 dB) ・相当スラブ厚(cm)		
				(最低) 床仕上げ 構造等	・受音室名() ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()		
				相当 スラブ厚	・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他 ・m : 床躯体の面密度(kg / m ²) ・Ei: ヤング係数 (× 10 ¹⁰ N / m ²) ・li: 幅1m当りの断面2次モーメント (× 10 ⁻³ m ⁴ / m) ・h ₁ : 等価厚さ(m) ・ L: 重量床衝撃音レベル低減量 dB) ・相当スラブ厚(cm)		

性能表示事項	自己評価等級		確認項目	設計内容説明欄			設計内容確認
	最高(cm)	最低(cm)		項目	設計内容	記載図書	
音環境に関する事 下階該当なし	8-1口相当 スラブ厚(重量衝撃音)	27 20 15 11 他	27 20 15 11 他	下階 界床	(最高) 床仕上げ 構造等	・受音室名() ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()	計算書 仕様書 平面図 構造図
	相当 スラブ厚	相当 スラブ厚	相当 スラブ厚	(最低) 床仕上げ 構造等	・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他 ・m : 床躯体の面密度(kg / m ²) ・Ei: ヤング係数 (× 10 ¹⁰ N / m ²) ・li: 幅1m当りの断面2次モーメント (× 10 ⁻³ m ⁴ / m) ・h ₁ : 等価厚さ(m) ・ L: 重量床衝撃音レベル低減量 dB) ・相当スラブ厚(cm)		
				相当 スラブ厚	(最低) 床仕上げ 構造等	・受音室名() ・床仕上げ材 ビニル系床材(JIS- A5705)及び同等のもの 畳(JIS-A5902) 及び同等のもの 建材畳(JIS- A5914) 及び同等のもの 織じゅうたん(JIS- L4404)及び同等のもの タフテッドカーペット(JIS- L4405)及び同等のもの JIS- A1440の5.1においてカテゴリ- に該当 () 木質系フローリング材(厚 mm) その他()	
				相当 スラブ厚	(最低) 床仕上げ 構造等	・施工方法 直接床構造の上に施工 乾式二重床下地構造の上に施工 発泡プラスチック系下地構造材の上に施工 その他 ・m : 床躯体の面密度(kg / m ²) ・Ei: ヤング係数 (× 10 ¹⁰ N / m ²) ・li: 幅1m当りの断面2次モーメント (× 10 ⁻³ m ⁴ / m) ・h ₁ : 等価厚さ(m) ・ L: 重量床衝撃音レベル低減量 dB) ・相当スラブ厚(cm)	

性能表示 事項	自己評価 等級		確認 項目	設計内容説明欄			設計 内容 確認				
	最高 (等級)	最低 (等級)		項目	設計内容	記載図書					
音 環 境 に 関 す る こ と	8-2イ 軽量床 衝撃音 対策等級 上階該当 なし	最高 (等級) 5 4 3 2 1	最低 (等級) 5 4 3 2 1	上階 界床	(最高) 床構造の 区分等	・受音室名() ・床構造の区分 (床構造1 床構造2 床構造3 その他) スラブの種類()スラブの等価厚さ(mm)	仕様書 平面図 構造図				
					床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()					
					(最低) 床構造の 区分等	・受音室名() ・床構造の区分 (床構造1 床構造2 床構造3 その他) スラブの種類()スラブの等価厚さ(mm)					
					床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()					
下階該当 なし	最高 (等級) 5 4 3 2 1	最低 (等級) 5 4 3 2 1	下階 界床	(最高) 床構造の 区分等	・受音室名() ・床構造の区分 (床構造1 床構造2 床構造3 その他) スラブの種類()スラブの等価厚さ(mm)	仕様書 平面図 構造図					
				床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()						
				(最低) 床構造の 区分等	・受音室名() ・床構造の区分 (床構造1 床構造2 床構造3 その他) スラブの種類()スラブの等価厚さ(mm)						
				床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()						
8-2ロ 軽量床 衝撃音 レベル 低減量	最高 (dB) 30 25 20 15 他	最低 (dB) 30 25 20 15 他	上階 界床	(最高) 床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()	仕様書 平面図					
				(最低) 床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()						
				上階該当 なし	最高 (dB) 30 25 20 15 他		最低 (dB) 30 25 20 15 他	下階 界床	(最高) 床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()	仕様書 平面図
				下階該当 なし	最高 (dB) 30 25 20 15 他		最低 (dB) 30 25 20 15 他	下階 界床	(最低) 床仕上げ 材の区分 等	・床仕上げ構造の区分 床仕上げ構造1 床仕上げ構造2 床仕上げ構造3 床仕上げ構造4 床仕上げ構造5 その他 床仕上げ名()	

性能表示 事項	自己評価 等級	確認 項目	設計内容説明欄			記載図書	設計 内容 確認
			項目	設計内容			
音 環 境 に 関 す る こ と 該 当 な し	4 3 2 1	界壁 の 遮 音 性 能	界壁の構 造・仕様 (最も性能 の低いも の)	RC造	SRC造	S造	仕様書 平面図
	普通コンクリート厚さ() cm) 軽量コンクリート厚さ() cm) 面密度() kg/m ²) 無筋コンクリート厚さ() cm) 面密度() kg/m ²) CB造			れんが造	石造厚さ() cm)		
			付帯条件	・コンセントボックスの位置等 対面する位置に欠き込み設置なし ・界壁の仕上げ材(ボード類) 界壁とボード類の間はGL工法としない			
8 - 4 透 過 損 失 等 級 (外 壁 開 口 部)	北面 3 2 1 該 当 な し	開口 部 の 遮 音 性 能	北の方位の サッシ・ドア セット (最低のもの)	JISA4706に規定する試験方法の透過損失平均 値が(25dB以上 20dB以上)のもの JIS遮音等級表示品(T-4 T-3 T-2 T-1) 試験機関() 試験番号()			仕様書 平面図
	東面 3 2 1 該 当 な し			東の方位の サッシ・ドア セット JISA4706に規定する試験方法の透過損失平均 値が(25dB以上 20dB以上)のもの JIS遮音等級表示品(T-4 T-3 T-2 T-1) 試験機関() 試験番号()			
	南面 3 2 1 該 当 な し			南の方位の サッシ・ドア セット JISA4706に規定する試験方法の透過損失平均 値が(25dB以上 20dB以上)のもの JIS遮音等級表示品(T-4 T-3 T-2 T-1) 試験機関() 試験番号()			
	西面 3 2 1 該 当 な し			西の方位の サッシ・ドア セット JISA4706に規定する試験方法の透過損失平均 値が(25dB以上 20dB以上)のもの JIS遮音等級表示品(T-4 T-3 T-2 T-1) 試験機関() 試験番号()			